

生駒駅（北）圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは俵口村、谷田村の自給的農村でしたが、大正3年(1914年)の大軌鉄道(現在の近鉄奈良線)や昭和34年の阪奈道路の開通に伴い、民間事業者による宅地開発が進められ、昭和40年から50年にかけての人口増加率は約270%と急激に人口が増加した地域であります。また、本市の中心地として発展する素地を形成した地域でもあります。

2. 特徴

本圏域の北西に位置する別所池を源流とする竜田川流域再上流部に位置し、生駒山系と生駒台丘陵に挟まれた谷筋(生駒谷)に山裾まで市街地が形成されています。斜面地形を活かした陽当たりの良い住宅地は、生駒山や矢田丘陵の眺望景観も良く自然が身近に感じることができ、近鉄生駒駅までバスで約15分の圏域であるなど交通至便な地域でもあります。また、生駒駅北口では市街地再開発事業による基盤整備が順次進められ、公共・商業・業務施設等が集積する本市の玄関口にふさわしい都市空間が形成されています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減(2020年→2040年)

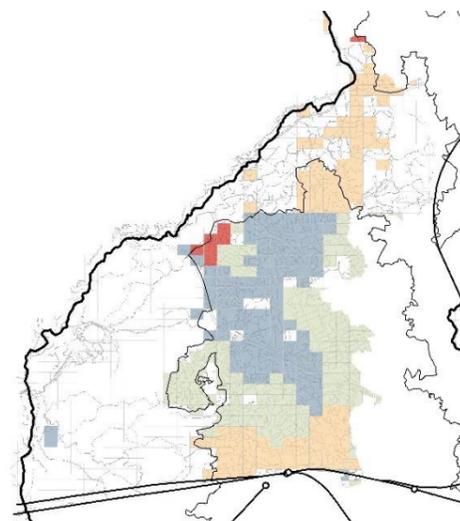
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン(人)												住民基本台帳(R2.4.1)
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
生駒台北	S36	539	424	-21.3%	77	50	-35.1%	360	278	-22.8%	102	96	-5.9%	253
生駒台南	S36	870	691	-20.6%	74	86	16.2%	602	430	-28.6%	194	175	-9.8%	410
新生駒台	S40	747	608	-18.6%	76	83	9.4%	518	378	-27.0%	153	147	-3.6%	330
松美台	S47	1,882	1,533	-18.5%	227	193	-14.7%	1,304	989	-24.2%	351	351	-0.1%	835
光陽台	S52	473	307	-35.2%	30	33	10.6%	288	181	-37.2%	155	93	-40.2%	229
喜里が丘	S57	1,751	1,447	-17.4%	194	182	-6.3%	1,280	918	-28.3%	277	347	25.3%	740
北新町	—	1,940	1,651	-14.9%	263	202	-23.3%	1,367	1,119	-18.1%	310	330	6.3%	992
東松ヶ丘	—	1,399	1,280	-8.5%	172	166	-3.7%	1,040	864	-16.9%	187	250	33.7%	694
西松ヶ丘	—	2,071	1,819	-12.2%	261	240	-8.0%	1,501	1,206	-19.7%	309	373	20.8%	936
谷田町	—	1,558	1,455	-6.6%	252	195	-22.7%	1,129	1,025	-9.2%	177	235	33.3%	715
桜ヶ丘	—	864	775	-10.3%	123	105	-14.3%	630	520	-17.5%	111	150	35.9%	322
俵口町	—	7,628	7,245	-5.0%	1,063	1,025	-3.6%	5,824	4,837	-16.9%	741	1,383	86.7%	3,074
南田原町	—	2,182	1,850	-15.2%	260	246	-5.2%	1,609	1,194	-25.8%	313	410	30.7%	921
合計	—	23,905	21,085	-11.8%	3,072	2,806	-8.7%	17,454	14,900	-14.6%	3,379	4,341	28.5%	10,451

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減(2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	生駒台北	49.0	38.5
生駒台南	54.4	43.2	-20.6%
新生駒台	57.5	46.8	-18.6%
松美台	89.6	73.0	-18.5%
光陽台	31.6	20.5	-35.2%
喜里が丘	64.9	53.6	-17.4%
北新町	40.4	34.4	-14.9%
東松ヶ丘	93.3	85.3	-8.5%
西松ヶ丘	64.7	56.8	-12.2%
谷田町	55.7	52.0	-6.6%
桜ヶ丘	72.0	64.6	-10.3%
俵口町	24.1	22.9	-5.0%
南田原町	9.7	8.2	-15.2%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測

(3) 交通

拠点駅 生駒駅(近鉄奈良線)

- 乗降者数 47,254人/日(H30.11調査)
- バス路線数 6路線(うちコミュニティバス路線数2路線)

方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
生駒台循環(外回り・内回り)	7.0	3.9	6.3
田原台一丁目(喜里が丘方面)	6.3	4.1	7.0
北田原(南田原方面)	1.3	1.0	2.3
あすか野センター(東生駒駅経由)	3.3	1.9	1.7
コミュニティバス北新町線	0.3	0.9	0.3
コミュニティバス光陽台線	0.7	1.0	0.7

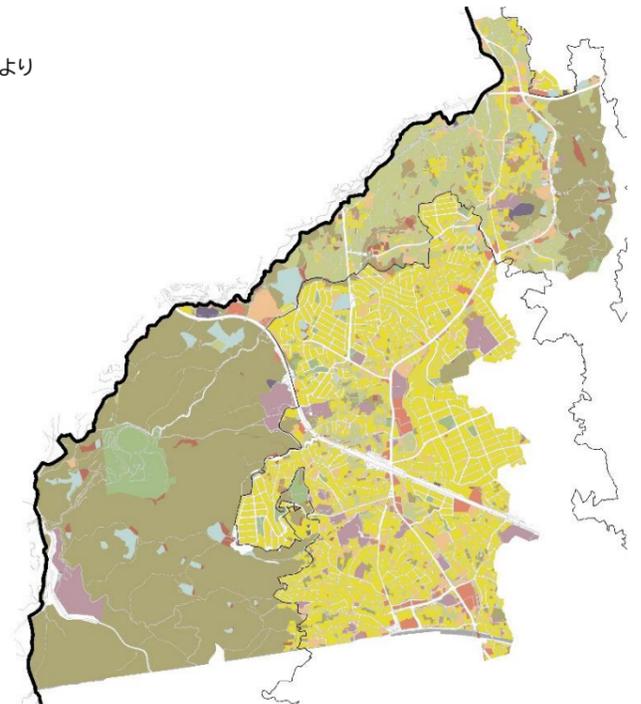
2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

(4) 土地利用

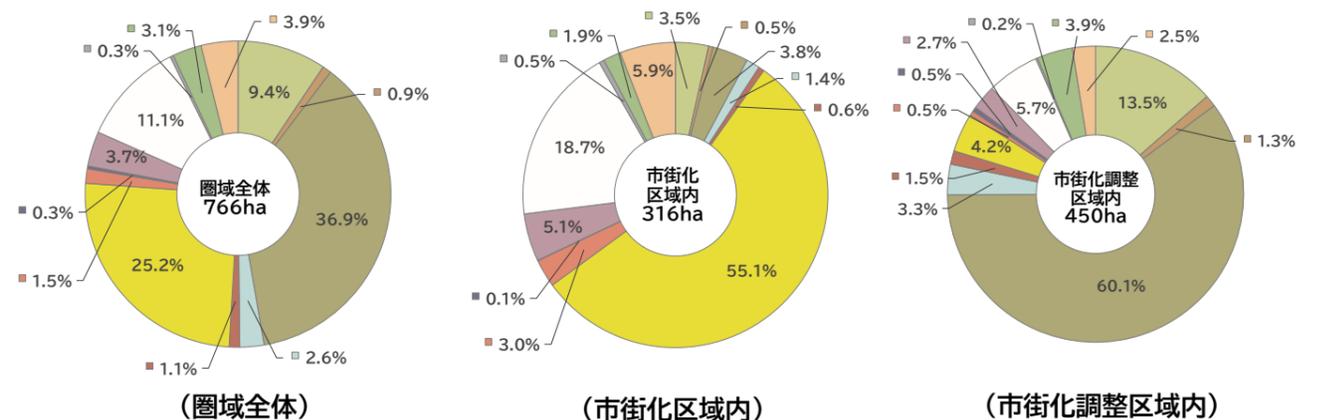
土地利用の状況

※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



近隣公園での緑化活動



古民家集落(南田原の集落)



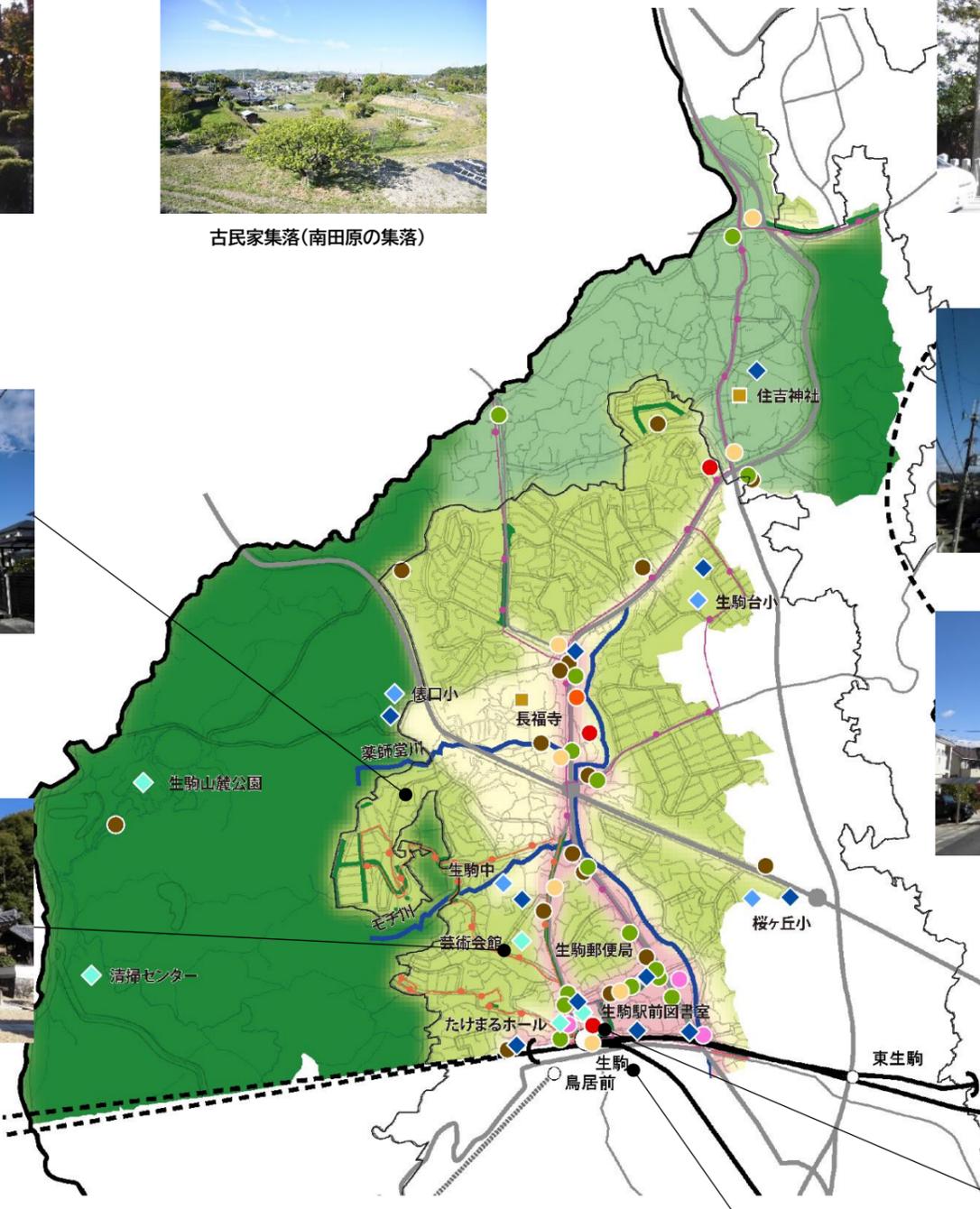
住吉神社(お松の宮)



良好な眺望空間(生駒山系)



長福寺本堂(長文)



土地利用

- 市街地ゾーン
 - 商業・業務地
 - 低層住宅地
 - 複合住宅地
 - 田園集落ゾーン
 - 山林・緑地ゾーン
- 行政界
- 市街化区域界
- 国道・県道・主要地方道
- その他の道路
- 駅
- 鉄道
- 路線バス
- コミュニティバス
- 街路樹

- ◆ 小中学校
- ◆ 保育園・幼稚園
- ◆ 公共施設
- スーパーマーケット等
- ドラッグストア
- ホームセンター
- コンビニ
- 病院診療所
- 福祉施設等
- 主要歴史文化資源

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

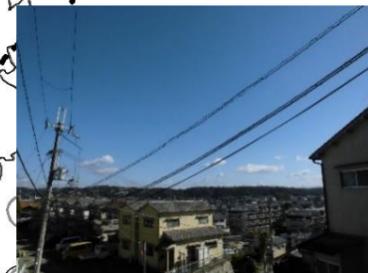
〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



良好な眺望景観(矢田丘陵)



閑静な住宅街



バルテラスいこまバルステージ



生駒駅北口市街地再開発事業